

(人権教育講座)

自分らしく生きること そして家族の絆

幼少の頃より、性の違和感を感じつつも、男性として育ち、そんな矛盾を感じつつも学生時代を過ごす。父の会社に入社。結婚、二人の子どもに恵まれ幸せの中カミングアウト、女性として生きることを決意。家庭や職場は混乱する。元妻博子さんの愛と心の広さのおかげで10年かけて家族の形を再構築。自分に向き合い、また家族を愛し、そんな家族のお話です。

いまにしちひろ

講師 **今西千尋**さん

有限会社 今西鉄工所

製造部長(前代表取締役社長)

■日時：令和5年 **3月2日** (木) 午後3時30分～5時30分

■場所：富田ふれあい文化センター地下・大ホール

■定員：70人(申込順)

■持ち物：筆記用具・マスク着用

■保育：要予約

■手話通訳：あり



※参加及び保育の申込方法：直接窓口、電話・FAXにて

(FAX記載事項：氏名・連絡先・講座名記入)

2/6(月)～2/17日(金)の午前9時から午後5時まで

(土・日・祝日を除く)定員に達し次第、受付を終了。



※申込問合先

富田ふれあい文化センター内、高槻市人権まちづくり協会

電話：072-694-5451 FAX：072-694-5453

今西千尋さんプロフィール (出生時は文彦)

京都の商家の長男で生まれ、6歳の時に性別の違和感を感じるも、その気持ちは心の奥底に押し込め、少年時代から男の子として必死に生きてきた。結婚し二人の子どもに恵まれたが、2011年に性別の違和感に耐えられなくなり、女性で生きることを選択。その後、戸籍を千尋に変更し、身体も女性に変更。